

## ■お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考してください。

- 海水や汚れた水中で使用した場合は、使用後にきれいな水で柔らかいスポンジやブラシ等を使い洗います。スチールたわし等は本製品が傷つきますので使用しないでください。
- 高圧洗浄機は使用しないでください。損傷の恐れがあります。
- 汚れが落ちない時は中性洗剤と真水で本体を洗い、しっかりすすいでください。強力な化学薬品を含む洗剤を使用しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- 洗浄後は完全に乾燥するまで十分な時間を置いてから収納してください。乾燥が不十分な場合は、カビが発生したり、金属部分が錆びる恐れがあります。

## ■保管方法

- 保管方法や使用状況にもよりますが、通常のご使用、お手入れ、保管をしていた場合の耐用年数は最初の使用から5年間が目安です。
- 本製品を完全に膨らませた状態で長期間保管しないでください。
- 空気を少し残して広げた状態で保管してください。
- 雨露、粉塵、直射日光、紫外線を避け、塩害を受けず高温多湿ではない清潔で乾燥した場所に保管してください。剥き出しの状態や、湿った場所、コンクリート上や湿度の高い場所には絶対に保管はしないでください。
- 4℃以下の気温になる場所での保管はしないでください。
- 濡れたまま保管すると湿気によりボードの劣化が早まるため、充分に乾かしてから保管してください。
- 火のそばに置かないでください。

## ■廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

## ■アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
- 空気の入れすぎによるバースト(破裂)

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

## ■仕様・サイズ

品番	1873070	1843071	1843072
品名	KAME	CJ2 RUSH	CJ4 RUSH
本体サイズ	330×76×15cm (10'10"×30"×6")	380×71×15cm (12'6"×28"×6")	426×71×15cm (14'×28"×6")
最大圧力	15psi	20psi	20psi
適正圧力	12psi	18psi	18psi
最大積載量	145kg	170kg	190kg
主素材	【ボード】塩化ビニル 【パドル】アルミニウム合金(シャフト)、ナイロン(ブレード)		

## ■その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

輸入販売元 株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 モンベルホームページ <https://www.montbell.jp/>  
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで Tel. 06-6531-3544 フリーコール: 0088-22-0031



共通取扱説明書

# JBAY.ZONE スタンドアップパドルボード

## JBAY.ZONE STANDUP PADDLEBOARD

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

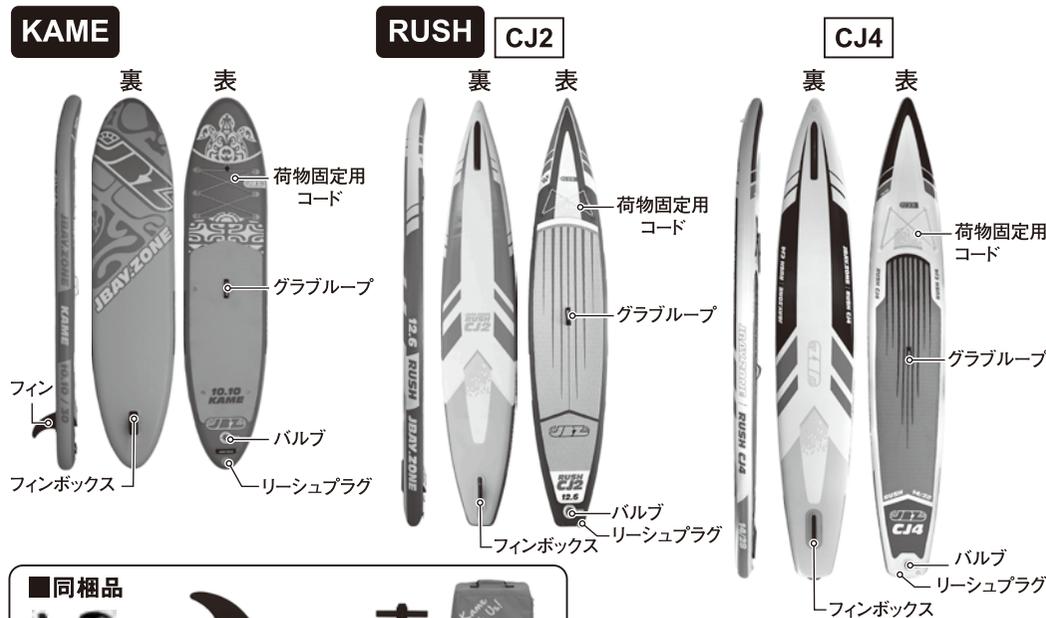
ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものです。安全な条件のもとで十分な練習を行い、正しい使用方法を習得してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

## ■特長

本製品はボードの上に立ってパドルを漕ぎながら水面を進むスタンドアップパドルボード(SUP)です。空気を入れるだけで簡単に組み立てられ、浮力が高く、安定感があるのが特長です。空気を抜くと、コンパクトに折りたためます。

## ■各部の名称



### ■同梱品



※付属品の形状はモデルによって異なることがあります。

## 安全上の注意 必ずお読みください

### 保護者の方へ

- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みいただき、お子さまが理解できるように説明してください。
- お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。
- 本製品の対象年齢は5歳以上です。5歳未満のお子さまは使用しないでください。

### 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- スタンドアップパドルボードは、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。
- 製品に対しての誤った取り扱い(陸上・水上)や保管方法、または経年劣化により破損を起こし、重大な事故につながる恐れがあります。
- インフレーター(空気式)ボードは破損すると浮力が無くなります。万一のことを想定して必ずライフジャケット(救命胴衣、フローティングベスト)を着用してください。
- 本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。
- 本製品は、鋭利な岩に当たり本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。
- 風が強かったり波が高いときは使用しないでください。
- 沿岸では、潮の干満や潮流の速さも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携帯してください。
- 水かさが増している時などの悪条件下では本製品を使用しないでください。
- 自分の能力以上の行動は慎んでください。
- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆が無い事を確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。
- 岸から100m以上離れて使用しないでください。

### 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。
- 空気が漏れている状態では絶対に使用しないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 再乗艇ができる服装、装備(ライフジャケットなど)を使用してください。またボード側も再乗艇ができるように荷物などを固定してください。
- 本製品を使用する際に、岩などがあるところではウオータースポーツ用ヘルメット、グローブ、エルボーパッド、ニーパッド、ウオーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。
- 本製品に荷物を積む場合は、ボードの安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。静水時にデッキが水没する程積載するのは危険ですのでおやめください。
- 本製品の下で泳がないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 運搬時以外に本製品のハンドルに手や足を入れないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品から水中にジャンプしたり飛び込んだりしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 健康に問題のある方は、本製品の使用を始める前に医師にご相談ください。
- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるよ

に説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。

お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対にしないでください。

- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 本製品は穏やかに流れている場所で使用できますが、流れが急な場所では使用しないでください。
- しげの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。
- 本製品は水上で使用目的で作られています。その他の目的(雪上など)では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は、安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。
- 見知らぬ場所、不確かな状況の際は事前に調査してください。
- 本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。
- 泳げない方は絶対に使用しないでください。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の改造はしないでください。乗艇・脱艇の妨げになるような改造・機装・積載をさけてください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。
- 一人でスタンドアップパドルボードを行わないでください。

### 注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 本製品は小さな傷や接着剤の剥がれなどが空気漏れの原因となります。使用前には必ず点検してください。
- 使用方法をご理解いただき、本製品を装着した状態でスムーズに漕げるように事前に浅瀬などの安全な場所で十分練習をしてください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 標高の高い場所に移動する前に空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- ボードに最大圧力以上の空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 空気を入れる際は専用のポンプを使用してください。絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ポンプ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。
- 陸上では直射日光や火などの熱に近づけないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 陸上で使用しない時は、少し空気を抜くか、日陰に置いてください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- ナイフ、岩などの鋭利なものや、40℃以上の熱に接触させないでください。破損の恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所や高温になる車内、その他の高温になる場所に長時間ボードを収納したり、換気のできない収納袋などに入れないでください。ボードが破損したり変質する恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- 長時間水や海水に付けたまま放置しないでください。劣化や破損の原因になります。
- 本製品を棧橋に固定しないでください。棧橋や杭には鋭利な部位があったり、貝殻等が付着している場合があるため、製品に穴が空いたり、痛めたりすることがあります。
- 長時間に渡り太陽光にさらされることでグラフィック(図柄)が退色していきますが、通常であり、製品の性能には影響をおよぼしません。使用しないときは直射日光を避けて保管してください。
- 使用前にフィンが確実に固定されていることを確認してください。
- フィンを下にして本製品を置かないでください。フィンが破損する恐れがあります。
- パドルングの際、フィンが岩や水中の障害物にぶつかけたり、ボードで乗り上げたりしないように注意してください。ボードに取り付けられた状態のフィンをぶつけると、フィンボックスに深刻な損傷を与える恐れがあります。このような損傷は保証の対象外となります。
- リーシュコードは安全装備や水泳能力やライフジャケットの代わりとして機能するものではありません。
- リーシュコードは消耗品です。使用前に毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や摩耗や破損のはげしいものは直ちに使用を中止して新しい製品に買い替えてください。
- リーシュコードが身体やボード、フィンなどに絡まないように注意してください。
- ボードが沈むなど万一の際はベルクローをすぐに外せるようにしてください。沈むボードにより水中に引きずり込まれる恐れがあります。
- 収納バッグを棚など高い場所に置く場合は落下する恐れがあります。

- ボードを車の上や荷台に積む場合は、ボードを裏返した状態でパウ(前側)を前向きにして、十分注意して運んでください。
- 硬い地面やでこぼこして粗い場所などにボードを落下させたり引きずったり強打させたりしないでください。
- サーフィンのマナーを十分理解している熟練のパドルでない限り、絶対にサーファーの近くで使用しないでください。長いボードは波の中ではコントロールが難しく、周囲の人に危険を及ぼす恐れがあります。
- 現地の自治体などが定めるルールや規制について確認をしてください。
- 高い水圧を受けたときや、水中に長時間沈めっているとパドルのシャフトの中に水が入ることがあります。
- パドルは丈夫な素材で作られていますが、浅瀬や岩などに激突するような場所で使用すると破損する恐れがあります。
- 火のそばに置かないでください。

## ■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。  
異常が見られた場合は使用しないでください。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ボード本体やパドルに傷や破れがないか            | <input type="checkbox"/> 空気漏れがないか          |
| <input type="checkbox"/> バルブは機能するか                     | <input type="checkbox"/> フィンは正しく取り付けできているか |
| <input type="checkbox"/> リーシュコードに破損がないか                |  |
| <input type="checkbox"/> パドルに磨耗やひび割れ、故障やその兆候などがないか     |  |
| <input type="checkbox"/> パドルの接続ピンが接続孔に適合しているか          |  |
| <input type="checkbox"/> パドルの長さ調節レバーのネジが適切な締め具合になっているか |  |

## ■ 使用方法

※写真やイラストはイメージです。

### ボードの組み立て方法

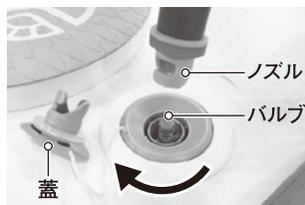
#### ○ 同梱品の確認

パッケージの中に同梱品が正しく入っているか確認してください。不足があった場合は販売店もしくは弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。(P.1の各部の名称を参照)

#### ○ 空気の入れ方

空気を入れる際は平坦で凹凸の少ない柔らかい土や芝生の上でボードを広げます。ボードに傷を付ける恐れがあるため、岩やコンクリートは避けてください。

- ① 付属のポンプにホースを接続して組み立てます。空気が漏れないように確実に接続してください。
- ② ボードのバルブの蓋を開き、ホースのノズルを挿して時計回りに回して固定します。
- ③ 必要に応じてダブルアクション(低圧時)、シングルアクション(高圧時)をポンプのレバーで切り替えながら空気を入れてください。最大圧力を超えないように注意してください。
- ④ 空気が入ったらバルブの蓋を閉めてください。



低圧時 高圧時



吸気口

	KAME	RUSH CJ2/CJ4
適正圧力	本体12psi	本体18psi
最大圧力	本体15psi	本体20psi



### バルブの操作方法

#### 空気を入れる時

バルブの中央を押し込みながら、左右どちらかに回し、バルブ中央を上げます。



#### 空気を抜く時

バルブの中央を押し込みながら、左右どちらかに回し、バルブ中央を下げます。



## ⚠ 注意

- 大人が使用する場合の最大空気圧はKAMEは15psi、RUSH(CJ2/CJ4)は20psiです。体重が重い人が使用する際は、この上限値近くまで空気を入れる必要があります。
- 空気を入れすぎると、製品に永続的または修理ができないような損傷を与えることがあります。絶対にKAMEは15psi、RUSH(CJ2/CJ4)は20psiを超える圧力にしないでください。
- 空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
- 空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト(破裂)することがあります。
- 気温の高い時や直射日光の強い季節の休憩時は、日陰に置いたり水に浮かべるなどして、膨張しすぎないように注意してください。
- インフレーターの本製品は、時間の経過や温度変化により徐々に空気が抜けることがあるため、空気圧が適切であることを使用前に必ず確認してください。必要に応じて空気を抜き入れします。
- ポンプのノズルのパッキンが正しく装着されていないと適正な圧力がかからず空気が漏れる場合があります。
- バルブ内に砂やゴミがある場合は取り除いてから空気を入れてください。
- バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水や砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。
- 付属のバルブレンチをバルブに取り付け、バルブ本体が絞まっているか必ず確認してください。



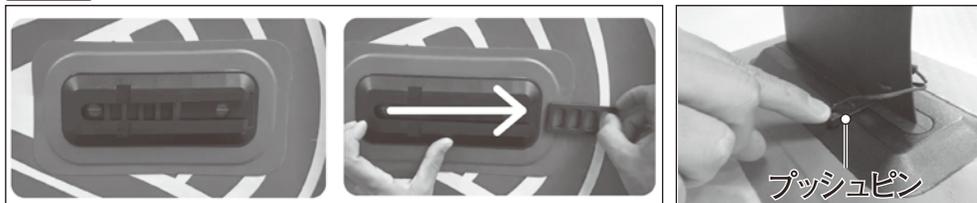
パッキン  
ノズル



バルブレンチ

### ○ フィンの取り付け方法

#### KAME



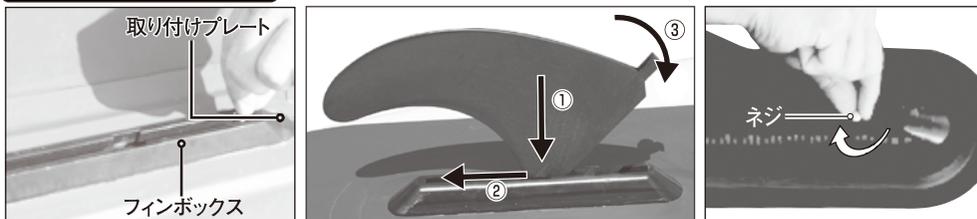
① フィンボックスの変形を防ぐ為に格子状のパーツが取り付けられています。フィンを取り付ける前にこのパーツを取り外してください。

② フィンボックスにフィンを差し込み、プッシュピンを横から差し込みフィンを固定してください。

※プッシュピンを紛失しないようにご注意ください。

※使用前に、フィンがボードに確実に装着されていることを確認してください。

#### RUSH(CJ2, CJ4共通)



① フィンボックスの中央の穴に取付プレートを入れ、ネジの先端で取付プレートをボードの前側に移動させます。

② フィンボックスの溝にフィンを入れます。※図のフィンと付属のフィンの形状は異なります。

③ フィンのネジ穴と、取付プレートのネジ穴の位置を合わせ取付プレートにネジ締め込み、フィンを固定します。

※ネジと取付プレートを紛失しないようにご注意ください。

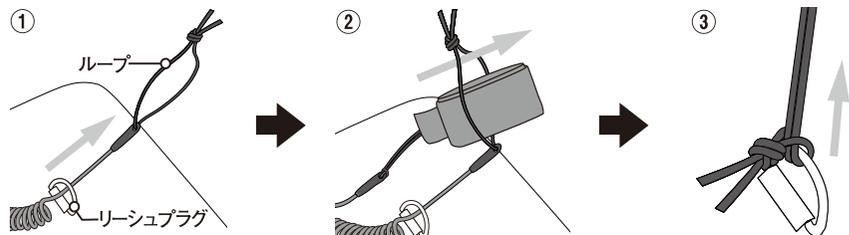
※使用前に、フィンがボードに確実に装着されていることを確認してください。

## ○リーシュコードの取付方法

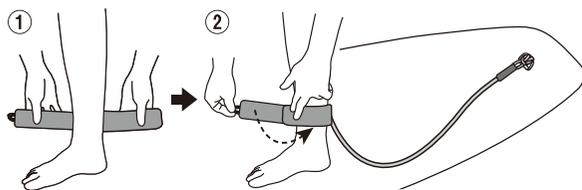
※イラストはイメージです。

リーシュコードは足首に正しく装着してください。リーシュコードを装着することで、落水した際に体とボードをつなぎとめることができます。※リーシュコードの形状は異なることがあります。

① 下図を参考にリーシュコードを本体のリーシュプラグに取り付けてください。



② ベルク口を足首に巻き付けます。  
※ベルク口に砂等が付着すると接合力が弱くなるため注意してください。  
※万一の際はベルク口をすぐに外してください。



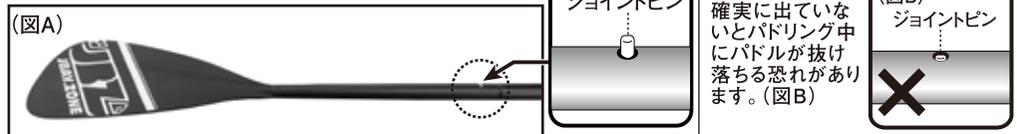
## ○ボードの収納方法

バルブを開け(前項の「空気を抜く時」参照)、ボード内の空気を押し出すように空気を抜きながら折り畳んで収納袋に収納します。

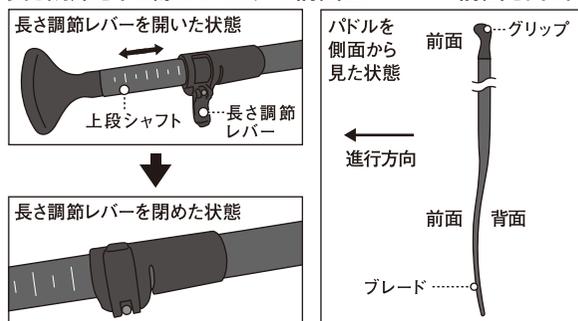


## ○パドルの組み立てと長さの調節方法

中段シャフトと下段シャフトをつなげます。その際、ジョイントピンが確実に出ていることをお確かめください(図A)。



上段シャフトと中段シャフトをつなげます。長さ調節パーツのレバーの開閉でパドルの長さを変えることができます。パドルの長さは使用目的により変わりますが目安として身長に15~25cm程度を足した長さです。長さ調節をする際はグリップの前面とブレードの前面を同じ向きにそろえてください。



※シャフトに溝が付いており、グリップ(上段シャフト)とブレードの取り付け向きがずれません。  
※パドルのグリップの凹み(前面)を進行方向に向けて握ってください。

### ⚠ 注意

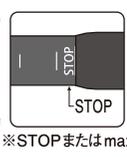
ジョイントピンが確実に出ていないとパドルリング中にパドルが抜け落ちる恐れがあります。(図B)



※長さ調節レバーがゆるいと上段シャフトが抜け落ちる可能性があります。長さ調節レバーを開いた際に、ゆるい場合は長さ調節レバーを左図のように時計回りに回して、ネジを締めてください。強く締めすぎると締め具が破損する場合があります。

### ⚠ 注意

調節幅は、(STOP)または(max)の表示が見えない範囲で調節してください。(STOP)または(max)の表示以上に伸ばして使用するとジョイント部に過度の負荷がかかり、破損の原因となります(右図)。



## ■生地の修理方法

※付属のリペアキット以外の修理用品はお客様までご用意ください。

### ○作業スペースと修理道具

- ① 清潔で乾燥しており、換気のよい所で修理してください。接着剤の適切な硬化を促すため、気温が10度以上になるようにしてください。なお、本製品を膨らませて置けるだけの十分なスペースが必要となります。
- ② リペアキットの同梱品：PVCパッチ(製品に応じて同梱) ※接着剤は付属していません。
- ③ 修理の際に必要なもの(修理内容により異なります、お客様までご用意ください) 軟質塩化ビニル用接着剤(アクアシールFD等)、よく切れるはさみかナイフ、食器洗い用洗剤、水、小さめのボウルかスプレーボトル、やすり#120、消毒用アルコール、ペン、小さいブラシか使い捨てのペイント用ブラシ、きれいで乾燥した布

### ○漏れの見つけ方

- ① 本体に空気を入れます。
- ② 食器洗い用洗剤を溶かしたせっけん水(洗剤50%、水50%)を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる(空気漏れの)箇所を見つけます。
- ③ 空気が漏れる箇所を特定できたら、その箇所を十分乾かし、印を付けておきます。

### ○パッチの貼り方

**重要：穴あきの補修は完全に空気を抜いた状態で行い、パッチを貼った後は24時間放置して接着剤を完全に硬化させてください。**

※接着剤の取扱いや各所要時間は接着剤に付属の説明書をお読みください。

- ① 補修の前に完全に空気を抜きます。
- ② リペアキットの中から、補修する箇所と同じ材質のパッチを選んで使います。よく切れるはさみかナイフを使用し、パッチを補修する箇所に合うサイズに切ります。
  - a. パッチのサイズは、補修する穴のサイズから全方向に3~5cm大きく切ってください。ピンホールの場合、パッチのサイズは5cm×5cmにしてください。パッチのサイズが大きいくほどしっかり補修ができます。
  - b. 剥がれにくくするため、なるべくパッチの角は丸く切ってください。
- ③ パッチのサイズが適切かどうか、接着剤を塗る前に補修箇所に置いて確認してください。
- ④ きれいなやすり#120を使い、補修する箇所の表面とパッチの裏側(接着面)にやすりをかけます。
- ⑤ 消毒用アルコールときれいな布でやすりをかけた場所を拭き取り、ゴミを取り除きます。
- ⑥ もう一度接着剤を塗る前にパッチを補修箇所に当て、ペンでパッチを貼る箇所に印を付けます。
- ⑦ 接着剤を使用します。丁寧に、かつ素早く作業をしてください。
  - a. 使い捨てのブラシを使い、あらかじめペンで印を付けた補修箇所全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。印を付けた箇所からはみ出さないように注意します。
  - b. 使い捨てのブラシ等を使い、パッチの裏面全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。
  - c. 約60秒間、接着剤を硬化させます。
  - d. ペンで付けた印を目印にして端から注意深く補修箇所にパッチを当てます。パッチと補修箇所の接着面が重なると、すぐに接着剤の硬化が進むため、慎重に行ってください。
  - e. 端から注意深くパッチを貼り付け、しっかりと上から圧迫します。
  - f. パッチ全体とパッチの端の部分を上からこすり、しっかりと圧迫します。
  - g. 空気を入れて使用する前に少なくとも24時間は放置し接着剤を完全に硬化させてください。
- ⑧ リペアキットで対応できないほどの大きな破れなどの修理は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

